

第2章 後期実施計画の内容

○ 実施計画書の見方について

【後期実施計画の特徴】

- ① 基本構想にある6つの将来目標や、第2期基本計画の分野・施策の方針と、それぞれの事業とのつながりを明らかにしました。
- ② 実施計画事業を1事業1単位として記載し、後期実施計画期間である4年間(平成24～27年度)の事業工程と事業規模を明らかにしました。
- ③ 実施計画書を補完するWEB版実施計画を鎌倉市公式ホームページ「鎌倉グリーンネット」上に作成し、毎年度、実施計画事業の進捗よく状況を明らかにします。(WEB版実施計画は、平成24年度に作成予定)

【記載例】

※「計画の前提」は構成が異なります。

6 活力ある暮らしやすいまち

基本構想における6つの将来目標を記載しています。(節)

1 地域情報化

行政情報を得やすい環境が整っているまち

第2期基本計画における第2章 まちづくりの展望などに記載した分野名と計画期間内にめざすべきまちの姿を記載しています。(分野)

【基本計画目標】

第2期基本計画における分野の目標を記載しています。

- 情報格差に留意しながら、情報技術の恩恵をだれもが実感できる地域社会をつくります。
- 個人情報の保護を図る中で、時代の要求に合わせて効率的かつ効果的に事務事業の情報化を進め、よりよいまちづくりを推進します。

【基本計画施策の方針】

第2期基本計画における分野の施策の方針を記載しています。(施策の方針)

1 情報バリアフリーの推進

多様なメディアを活用し、だれもがどこでも情報を容易に利用できるよう情報のバリアフリー化を進めるとともに、市民間の情報交流の促進を支援し、情報格差の解消に努めます。

2 情報セキュリティ対策の強化

個人情報の保護などについて、技術革新の進展を注視しながら情報セキュリティ対策を強化していきます。

3 情報基盤の整備

情報化の進展に対応できる行政情報システムの整備・拡充を実施し、市民が容易に情報を入手でき、行政サービスを受けられるようにします。また、地域コミュニティ形成の基盤となる情報システムの構築についても支援していきます。